

推薦及び応募状況の公表（中間）

【学識経験者】

推薦を受けた者及び募集に応募した者					推薦者								
氏名	職業	年齢 R7.4.1 時点	性別	経歴	氏名又 は名称	代表者の 役職・氏名	職業	年齢	性別	組織の目的	構成員 の数	構成員の資格	推薦又は応募の理由
石田 実	高知海区漁業調整委員会委員	65	男	昭和63年3月 北海道大学大学院水産学研究科博士後期課程退学 平成5年3月 北海道大学博士（水産学） 昭和63年4月～ 水産庁南西海区水産研究所勤務 平成21年4月～ 独立行政法人水産総合研究センター瀬戸内海区水産研究所勤務 平成27年4月～令和2年3月 国立研究開発法人水産研究・教育機構瀬戸内海区水産研究所勤務 平成20年9月～ 高知海区漁業調整委員会委員（学識経験委員） 平成21年4月～令和2年3月 全国漁業協同組合連合会及び公益社団法人全国豊かな海づくり推進協会の資源評価及び資源管理方策のアドバイザー 平成28年4月～令和2年3月 国立研究開発法人水産研究・教育機構の栽培対象種調査解析作業部会リーダー	-	-	-	-	-	-	-	-	私は昭和63年より令和2年3月まで、国立の水産研究所において水産資源研究に従事し、様々な魚種系群の資源評価を行いました。具体的には、毎年の年齢別漁獲尾数等の漁獲情報と成長、回遊、産卵数等の生物特性に基づいて、最新の資源解析手法であるチューニングVPA等を用いて漁獲可能量設定の科学的根拠となる生物学的許容漁獲量を算定し、資源評価報告書を作成しました。また、水産研究所の組織においては、資源評価と資源管理を推進する資源調査評価部会の付託により設置された栽培対象種調査解析作業部会リーダーとして部会を主宰し、全国のマダイ、ヒラメ、サワラ、トラフグ資源研究担当者の研究内容及び意見を調整し、当該魚種の資源調査及び解析方策をとりまとめました。 瀬戸内海広域漁業調整委員会では資源研究担当者として、サワラ瀬戸内海系群資源管理漁業者協議会では全国漁業協同組合連合会のアドバイザーとして、瀬戸内海海域広域種資源造成検討会では公益社団法人全国豊かな海づくり振興協会のアドバイザーとして、漁業者、水産庁、関係府県に対して資源状況の説明及び資源管理方策の提言を行いました。 平成20年より16年にわたり高知海区漁業調整委員会の学識経験委員を務め、資源管理の専門家として積極的に議論に参加してきました。 このように、資源管理に関する学識を十分に有し、意見調整の経験も豊富であると自負しているところです。高知海区漁業調整委員会委員に任命された場合、知識と経験を生かして、科学的知見に基づいた適切な意見を述べ、高知県漁業の発展と資源の持続的利用に貢献したいと考えています。